

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

前期

科目No.	107	科目名	化学物質総合管理法1		サブネーム	化学物質審査規制法と化学物質管理促進法		
共催機関名		レベル	中級		講義枠	木曜日	講義時間	18:30~20:00
科目概要	一般工業用途に使用される化学物質が人の健康や環境生物の生息にもたらしうるリスクを評価し、そのリスクを化学物質の製造・輸入・使用の規制や事業者の自主管理によって低減させる取り組みが、先進国を中心に世界各国で進められつつある。こうした取り組みに関連する我が国の法制度について解説するとともに、基礎となる科学技術・国際機関の活動等を概観し、今後の化学物質管理の方向やあり方を考えていく上での基礎的な知識を紹介する。							

サブタイトル	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
はじめに	1 講義内容の概説と目的	講義目的、講義概要、評価方法、学習の補助資料などに関するガイダンスを行う。	4月21日	203	辻 信一	経済産業省製造産業局 化学物質安全室長
我が国の化学物質管理政策	2 関連法規の体系	化学物質が人の健康や動植物の生息にもたらしうるリスクを評価し、製造、使用、排出等に関して必要な規制を行う我が国の関連法規の体系と歴史、そして各々の法律の分担関係を解説する。	4月28日	203		
化学物質審査規制法	3 現行法の仕組みと運用状況	化学物質審査規制法は2003年5月に改正され、改正法は2004年4月に施行されている。改正後の同法の仕組みとこれまでの審査の実績、規制の状況や効果等の運用状況について解説する。	5月12日	203	太田 知子	経済産業省製造産業局 化学物質管理課化学物質安全室課長補佐
	5 法律の基礎と科学技術と国際動向	化学物質審査規制法に基づく新規化学物質の事前審査の基礎となっている科学技術(試験・評価方法、リスク評価の考え方・手法等)および、欧米の類似法制度の特徴等について解説する。	5月19日	203	坂口正之	経済産業省製造産業局 化学物質管理課化学物質管理企画官
	6 法律の基礎と科学技術と国際動向		5月26日	203		
	4 現行法の仕組みと運用状況		6月2日	203	太田 知子	経済産業省製造産業局 化学物質管理課化学物質安全室課長補佐
化学物質排出把握管理促進法	7 現行法の仕組みと運用状況	PRTR制度の実施、安全性データシートの流通促進等によって事業者の自主管理を促進し、リスクの低減を期する化学物質排出把握管理促進法の仕組み等について解説する。	6月9日	203	飛驒 俊秀	経済産業省製造産業局 化学物質管理課リスク評価室課長補佐
	8 法律の基礎と科学技術と国際動向	化学物質排出把握管理促進法の対象となっている化学物質の選定の考え方や着目している有害性、化学物質の排出・移動数量の把握・推計方法、安全性データシートの記載情報と役割、人の健康や動植物の生息に対するリスクの評価手法等の科学技術的知見を、関連する欧米の動向も含めて解説する。	6月16日	203		
	9 法律の基礎と科学技術と国際動向		6月23日	203		
オゾン層保護法・フロン回収破壊法	10 現行法の仕組みと運用状況	オゾン層保護やフロンの回収・破壊に関する条約・国内法の趣旨・概要と歴史、背景にある科学技術・国際動向、これまでの運用実績等について学習し、国際世論が牽引力となって進められている化学物質管理政策に関して説明する。	6月30日	203	奥山 剛	経済産業省製造産業局 化学物質管理オゾン層保護等対策室室長補佐
	11 法律の基礎となる科学技術と国際動向		7月7日	203	松尾 武志	経済産業省製造産業局 化学物質管理オゾン層保護等対策室室長補佐
化学兵器禁止法	12 法の仕組みとその背景	化学兵器の製造、使用等の禁止に関する条約・国内法の趣旨・概要と歴史、背景にある科学技術・国際動向、これまでの運用実績等について解説し、国際世論が牽引力となって進められている化学物質管理政策に関し説明する。	7月14日	203	奥山 剛	経済産業省製造産業局 化学物質管理化学兵器・麻薬原料等対策室室長補佐
化学物質管理に係わる国際動向	13 OECDや国連での化学物質管理活動と日本の取り組み	1970年代からOECD活動や、1992年の地球環境サミットを契機とした国連活動の歴史や現状を解説し、世界各国の協動的取り組みの意義について説明する。	7月21日	203	福島 隆	経済産業省製造産業局 化学物質管理課法国際班長
	14 分類・表示の統一(GHS)の動向	化学物質の物理化学的危険性や毒性等の有害性の分類基準を統一し、それに基づく表示や安全性データシートの統一的情報伝達の促進と適正化を定めたGHSの内容、その意義や我が国での活用の見通しについて解説する。	7月28日	203	岡田 智裕	経済産業省製造産業局 化学物質管理課課長補佐
まとめ	15 更なる課題	将来に向けて化学物質管理や関連する行政の課題となっている諸問題(リスクの評価・管理に関係する科学技術的知見やその情報発信・活用の更なる充実、国内外の法的枠組への反映、産業界の取り組みの方向等)を概観し、新たな取り組みの方向や可能性に関して解説する。	8月4日	203	関 成孝	経済産業省製造産業局 化学物質管理課長